

黙示録 18 章 4 節-13 節 スタディーガイド

★ エレミヤ書 50 章 1 節-3 節

主が預言者エレミヤを通して、バビロンについて、すなわちカルデヤ人の国について語られたみことば。「諸国の民の間に告げ、旗を掲げて知らせよ。隠さずに言え。『バビロンは捕らえられた。ベルははずかしめられ、メロダクは砕かれた。その像ははずかしめられ、その偶像は砕かれた。』なぜなら、北から一つの国がここに攻め上り、この地を荒れ果てさせたからだ。ここには住む者もない。人間から家畜に至るまで逃げ去った。

2 節「バビロンは捕らえられた。ベルははずかしめられ、メロダクは砕かれた。その像ははずかしめられ、その偶像は砕かれた。」

メロダクと呼ばれる人はネブカデネザル王の後継者だった人ですが、2 年後に暗殺されています。メロダクという名はヘブライ語です。

シュメール語では、人間とすべてのものを創造した神をベル・マルドックと言い、バビロンの最も大切な神の名から来ています。この神を主バルドックと呼んでいたと考えられます。その偶像が砕かれたことが預言されています。

3 節「なぜなら、北から一つの国がここに攻め上り、この地を荒れ果てさせたからだ。ここには住む者もない。人間から家畜に至るまで逃げ去った。」

人類の歴史の中で、成就したことはありません。これはこれから起こる未来のことです。

★ 黙示録 18 章 4 節-5 節

それから、私は、天からのもう一つの声がこう言うのを聞いた。「わが民よ。この女から離れなさい。その罪にあずからないため、また、その災害を受けないためです。なぜなら、彼女の罪は積み重なって天にまで届き、神は彼女の不正を覚えておられるからです。」

4 節「わが民よ。この女から離れなさい。」

ユダヤ人がバビロンの中、または彼らのビジネスの中に潜んで、関わっている様子です。



黙示録 18 章 7 節－8 節

彼女が自分を誇り、好色にふけったと同じだけの苦しみと悲しみとを、彼女に与えなさい。彼女は心の中で「私は女王の座に着いている者であり、やもめではないから、悲しみを知らない」と言うからです。それゆえ一日のうちに、さまざまの災害、すなわち死病、悲しみ、飢えが彼女を襲い、彼女は火で焼き尽くされます。彼女をさばく神である主は力の強い方だからです。

7 節「彼女が自分を誇り、好色にふけったと同じだけの苦しみと悲しみとを、彼女に与えなさい。」

主は、バビロンを襲っている選ばれた勇士たちに語っています。

7 節「心の中で『私は女王の座に着いている者であり、やもめではないから、悲しみを知らない』と言うからです。」

バビロンが破壊され、煙が上る姿は、メシア王国（千年王国）の千年間、途切れることがなく、見せしめとなることでしょう。

8 節「一日のうちに、さまざまの災害、すなわち死病、悲しみ、飢えが彼女を襲い、彼女は火で焼き尽くされます。彼女をさばく神である主は力の強い方だからです。」

この戦いは、1日で終わる戦いです。



黙示録 18 章 10 節

彼らは、彼女の苦しみを恐れたために、遠く離れて立っていて、こう言います。「わざわいが来た。わざわいが来た。大きな都よ。力強い都、バビロンよ。あなたのさばきは、一瞬のうちに来た。」

10 節「力強い都、バビロンよ。あなたのさばきは、一瞬のうちに来た。」

言い換えれば、1時間で破壊されました。

ソドムとゴモラ、4千年前に破壊されたその場所は今日に至るまで草一本生えない荒れ果てた地となっており、人々が眺めているのです。



黙示録 18 章 11 節－13 節

また、地上の商人たちは彼女のことで泣き悲しみます。もはや彼らの商品を買う者がだれもないからです。商品とは、金、銀、宝石、真珠、麻布、紫布、絹、緋布、香木、さまざまの象牙細工、高価な木や銅や鉄や大理石で造ったあらゆる種類の器具、また、肉桂、香料、香、香油、乳香、ぶどう酒、オリーブ油、麦粉、麦、牛、羊、それに馬、車、奴隸、また人のいのちです。

11 節「地上の商人たちは彼女のことで泣き悲しみます。もはや彼らの商品を買う者がだれもないからです。」

バビロンに友人や愛する者がいたことでしょうか、彼らの悲しみは、商品を買う者がいなくなつたという悲しみだけです。

12節と13節で、ぜいたくざんまいしていたバビロンの様子が、7種類の品々に表されています。

- 1) 宝石
- 2) 最高額の紫布や緋布、そして中国から輸入していた絹など
- 3) 象牙細工や高価な木で作られた装飾品や家具
- 4) 高級な香料
- 5) 高級ワインや肉の食品
- 6) 裕福な人々が使う動物
- 7) 人の命

13節「奴隸、また人のいのち」

新改訳に記されていますが、文語訳やキングジェイムス訳では「奴隸および人の^{たましい}霊魂なり」と記されています。

奴隸は、ぜいたく品の一つと考えられていますが、魂は永遠の命に関わることを語っていると考えられます。真の神様を信じる者も信じない者も皆、永遠の命を持っています。神様を信じて天国に行くのか、信じないでハデスに行くのか、自由意思によって選びます。

終わりの日の大バビロンは、獣である反キリストとサタンを拝むように導き、それに従わない者を容赦なく殺していきます。

サタンを父なる神とし、反キリストを偽の子なる神とし、偽預言者を聖霊の立場に置いて、世界を偽の三位一体で惑わすような時代は、大患難時代のみと考えられます。

◆MEMO◆



OMEGA MINISTRIES
OMEGA BIBLE STUDY